

豊橋市中心市街地活性化基本計画2021-2025（素案）について

意見募集結果

○意見募集期間

2021（令和3）年2月6日（土）～2021（令和3）年3月7日（日）

○意見提出者数

個人からの提出：4人

団体からの提出：0団体

【内訳1：提出方法別】

提出方法	件数
持参	0
郵送	0
FAX	0
電子メール	2
意見提出フォーム	2
合計	4

【内訳2：住居別】

住居	件数
市内	3
県内	1
県外	0
不明	0
合計	4

○意見提出数

項目	件数
計画全般に関する意見	23
基本の方針に関する意見	3
指標に関する意見	1
事業に関する意見	3
その他	0
合計	30

○主な意見の概要

番号	項目	意見の概要	市の考え方
1	指標に関する意見	駅前で飲食店等の事業を行おうとしている人のためにも、平日(昼間/夜間)と休日(昼間/夜間)を分けた統計を取って頂きたいと思います。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
2	事業に関する意見	まちなか図書館の開業にとっても期待しているので、これまでの図書館イメージの枠にとられないセミナーや講座、ワークショップの開催などに期待しています。高齢化社会において、若者・働き盛りの世代が豊橋に住みたい、豊橋で仕事をしたいと思わせるような仕掛けづくりとなる事業に期待しています。 産官学民の連携による地域連携促進事業に対して、積極的な投資を行ってほしいと思います。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
3	計画全般に関する意見	中活計画のもともとの目的上、商業偏重になっているが、一般に物販ひいてはここ最近飲食も非常に苦しい状況である。その状況を踏まえての課題・目標像設定であった方が適当ではないかと感じた。また商業店舗数・通行人数は分かりやすい指標ではあるものの、商業以外の要素(例えば交通処理、公園、教育、福祉など)を含めた分野横断的な計画となるともっといいなと思った。	参考意見として受け止めさせていただきます。
4	計画全般に関する意見	「中心市街地の店舗の状況」のグラフで物販店と飲食店の店舗数推移は異なっている。11p-13p「小売業」の定義不明だが、分けた分析を加えるべきではないか?	小売業の定義については、平成28年経済センサス-活動調査結果より、「各種商品」、「織物・衣服・身の回り品」、「飲食料品」、「機械器具」、「その他」、「無店舗」とされています。なお、12・13ページのグラフについては、取得できるデータの中で分析を行っております。
5	計画全般に関する意見	「路面電車については・・・PRなどにより、路線バスについては・・・などにより」→「近年は利用者が増加傾向にあります。」前段と後段の因果関係が不明。	参考意見として受け止めさせていただきます。
6	計画全般に関する意見	①の○1つ目の最後段「にぎわいが実感できるようになりました。」主観的すぎないか?	参考意見として受け止めさせていただきます。
7	計画全般に関する意見	①の○3つ目の最後段「物販は厳しい状況が続くものの飲食サービスは元気な状況であり、今後も引き続き各種事業を推進することにより活性課の期待が持てるポテンシャルの高い地域であると考えています。」なぜ飲食サービスが元気だと、活性化の期待が持てるポテンシャルの高い地域であるのかが良く分からない。また各種事業推進が、そこにどう寄与するのか良く分からない。	参考意見として受け止めさせていただきます。

番号	項目	意見の概要	市の考え方
8	計画全般に関する意見	アンケート調査の回収がイベント開催時であり、強くバイアスのかかったサンプルである。既存の定期的な来街者と今後期待する来街者、居住者の整理はどう考えるか？いま利用していない人や居住して欲しい層のニーズを取り込むことが重要なのでは？	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
9	計画全般に関する意見	(1) 「・・・民間再開発を核としながら、ストックの再生」の部分と「ストック活用」の部分は、相容れない要素ではないか？空き店舗数増加にもみられるように容積余りの状況のなかで、新たな施設整備や現行再開発は容積を増大し、一層の床余りの助長をするように思えてなりません。	中心市街地には、密集した建築物や旧耐震基準で設計された老朽建築物が数多く残っていることから、民間再開発等による身の丈にあった建て替えが必要であると認識しております。
10	計画全般に関する意見	(2) 商業・サービス業とまとめているが、物販と飲食業では違いがあることが11pでも示されている。どういう業態どんな出店が望ましいのか分けて考えるべきではないか？また主体が商店街だが、能動的に動いている商店街はほぼ皆無状況だと思うので、主体として不適當ではないか？	参考意見として受け止めさせていただきます。
11	計画全般に関する意見	(4) 「多様なアクセス手段に対応することが求められます」とあるが、下を読むと「既存のアクセス手段の利便性をあげることが重要」と読める。またその場合、記載のある「自動車のアクセス容易化」は「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成の阻害になると思われるが、どうバランスをとる想定か？	駐車場の利便性向上等、「自動車のアクセス容易化」が「居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成」を妨げるものとは考えておらず、どちらも取り組んでまいります。
12	計画全般に関する意見	(5) 「地域の課題について住民・事業者・権利者等が・・・」と主体づけられているが、エリアマネジメント組織やUDC組織をみるに、一般的に行政側の積極的な関与なしにはなしえないのではないかとと思われる。支援の仕組み→成立するような仕組みづくりが必要かと思う。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
13	基本の方針に関する意見	(1) 全国的なトレンドとして物販店舗数自体が減少している状況ではないか？魅力的な店舗の集積は難しいのではないか？	参考意見として受け止めさせていただきます。
14	基本の方針に関する意見	(2) 後段「さらに・・・」とすべての交通手段に配慮する旨が記載されているが、車道/歩行者空間は相対する要素に思われる。どのように配慮するのか？	意見11に対する市の考え方と同様です。
15	計画全般に関する意見	目標像1①で「集約都市への転換を図る」「公共交通ネットワークの形成」とあるが、そのもう少しブレークダウンした内容が、計画に記載がないのはなぜか？	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。

番号	項目	意見の概要	市の考え方
16	計画全般に関する意見	目標像2の①で上位計画に「多様なライフスタイルに応じた居住と雇用の場」とあるのに雇用について触れられていない点はなぜか？	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
17	計画全般に関する意見	この計画を拝見して、これをベースにして、住人たちとともに、さらに議論を深めて、具体的なビジョンを打ち出したいと思いました。「自分たちの街をどうしたいのか」より具体的で明確なビジョンがあれば、街は良い意味での統一感がとれて、その街らしさが現れてさらに輝きを増すことでしょう。この計画を実りあるものとするのは住人だと思いました。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
18	基本の方針に関する意見	基本の方針にあった「にぎわうこと」は、手段であって目的ではない気がします。この低成長あるいはコロナ禍時代に、「にぎわうこと」が果たして相応しい表現なのか。何のために「にぎわうこと」が必要であるのか。その本質を突き詰めていくと分かりやすくなるように思いました。また、目標とするものも、より本質をついたものになるでしょう。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
19	指標に関する意見	商業・サービス業の活性化のための目標として、空き店舗数を掲げていましたが、空き店舗対策は、地権者が取り組むべきことです。そのため、当事者の方々に公共性の高い土地であること、固定資産税が高いこと、またこのまま放置しておけば何が生じるかを自覚させることが求められています。また、老朽化した共同建築物が多いので、地権者同士の話し合いを促していくこと。そのような法整備や税制を考慮していくことが求められています。	再開発事業の事業化には、法的な手続きや専門的な知識が必要であるため、豊橋市では事業の検討段階から勉強会の開催や、事業推進に関する助言等の支援を行っています。
20	指標に関する意見	住んでいる人を単に増やすのではなく、責任ある住人を増やしていくことが大切だと思います。単にマンションを投機対象とする風潮に警戒したいです。住民自治をもって街作りへの参画を促す、コミュニティ形成を後押ししていくこと。マンション再開発への関与も民間会社に丸投げするものと地権者住人たちが責任をもつものを区別していくこと。責任をもって住み続ける人を増やしていくことが大切だと思います。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。

番号	項目	意見の概要	市の考え方
21	計画全般に関する意見	私見としては、東三河の玄関・日本の臍（へそ）として相応しい豊橋まちなかを前提にすると、まず豊橋らしさが表出されることにしたい。そのアイデンティティである歴史・文化・スポーツ芸能等の情報発信がされているところ。豊橋のことが一目で分かる豊橋の顔であり、豊橋のショールームのようなところ。その点で子供たちへの教育とも密接につながっています。そして、高齢化社会の要請を考慮すると、高齢者に必要とされる場所でもあり、自動車なしで歩いて生活できる場所。医療施設などが充実して安心して最後を迎えることができる場所。また、上記の歴史・文化等を子供たちに継承する担い手としての高齢者にも期待したい。PLATココニコおよびまちなか図書館をそれらの拠点として生かしつつ、子供たちの活躍発表の場であり、高齢者の見守りの中で子供たちを育む場所としたいです。	今後、計画を推進していく上での参考にさせていただきます。
22	計画全般に関する意見	豊橋の中心市街地の定義と領域はこれで好いのか？	これまでの取組の成果を持続させながら地理的利便性を活かし、産官学と連携しつつ、さらなる都市機能集積とにぎわいの創出に取り組むことができる区域を本計画の計画区域として設定しております。
23	計画全般に関する意見	総務省主導の今までの成果は？	第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画(内閣府認定)の成果については、22～25ページに記載しております。
24	計画全般に関する意見	食料品と一部の日常消耗品以外の買い回り行動は、無くなるのではないのか？	参考意見として受け止めさせていただきます。
25	計画全般に関する意見	電動化・自動運転化(モビリティ革命)の整備と期待はなぜ書かれていないのか？	参考意見として受け止めさせていただきます。
26	計画全般に関する意見	10年後、30年後、100年後の豊橋市の将来像が、残念ながらこの細切れの計画案からは見えてこない。	参考意見として受け止めさせていただきます。

番号	項目	意見の概要	市の考え方
27	計画全般に関する意見	<p>街づくりの課題 全国に横浜市と豊橋市の2か所しかなかった乾繭取引所が象徴するような、国内屈指の生糸の街だった豊橋。この数十年間がこの街の最も輝いていた時代ではなからうか。路面電車を中心とした商都から、モータリゼーションに乗った自家用車に便利な街へ。その後、農業土木の財政投資効果からか、郊外型の農業の街となり、現在の空洞化が常態化し、今に至ったものと考えている。</p> <p>この150年ほどの街の変遷を踏まえ、次世代が市街地を形成したくなる意義、集まりたくなる理由を助成元の総務省ではなく、漏れなく付いてくる東京のコンサルでもなく、基礎自治体自らが見つけなければならない局面にあるのではないかと感じている。</p> <p>計画案に示されている中心市街地のエリア区分は、自家用車普及で破綻したままIoTの一般化によって、自立性を失い、益々意味を失くしていくと考えざるを得ません。</p> <p>代替案：分散市街地の保全 ローカル駅、路線バス亭周辺の生活圏の保全・再生 わたしは、小学校区を単位とするユニット型の生活エリアの持続化の方が、豊橋市全体の下支え、底上げになると考えます。 20世紀前半型商都の再現のような叶わぬ夢を追いかけるよりも、生活領域の防衛の方が現実的で重要ではないでしょうか。</p>	参考意見として受け止めさせていただきます。
28	計画全般に関する意見	<p>VRが、観るエンターテインメントの主流になりつつある現在、公費を投じて大規模アリーナ建設をする意義は極めて希薄である。財政に余裕があれば、地震津波時の減災、避難生活の質の向上に充てて欲しい。</p>	参考意見として受け止めさせていただきます。
29	計画全般に関する意見	<p>GAFAs抜きに、この市街化活性化政策を語ることは出来ず、通過するだけの賑わいを演出するのは税金の無駄遣いなので、即刻辞めて頂きたい。</p>	参考意見として受け止めさせていただきます。
30	計画全般に関する意見	<p>長く続いたシャッター街が、歯が抜けるように空き地が広がった旧市街地ですが、税金によってはりぼての街を維持するのは反対です。もちろん、災害に脆弱で、田園都市のメリットを享受できないであろう高層住宅も反対です。</p>	参考意見として受け止めさせていただきます。